

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
 気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

呼吸ケア・リハ

第22回3学会（日本胸部

外科学会・日本呼吸器

学会・日本麻酔科学会）

合同呼吸療法認定士

認定講習会および

認定試験

申込受付期間

4月17日（月）8時～24日（月）17時

申込者
募集

■認定講習会

日時：

A班8月25日（金）・26日（土）

B班8月27日（日）・28日（月）

C班8月29日（火）・30日（水）

D班8月31日（木）・9月1日（金）

会場：品川プリンスホテルアネックス

スタワ5F プリンスホール

（東京都港区）

講義内容：血液ガスの解釈／呼吸

機能とその検査法／呼吸不全の病

態と管理／呼吸リハビリテーショ

ン／酸素療法／人工呼吸器の基本

構造と保守および医療ガス／気道

確保と人工呼吸／NPPVとその

管理法／開胸、開腹手術後の肺合

併症／新生児の呼吸管理／人工呼

吸中のモニタ／呼吸不全における

全身管理

定員：合計4650名（定員に達

し次第受付終了）

受講資格：①②ともに満たすこと

①以下「a」「e」の免許および

実務経験年数を有する者。

「a」臨床工学技士（2年以上）

「b」看護師（2年以上）「c」准

看護師（3年以上）「d」理学療法

士（2年以上）「e」作業療法士

（2年以上）

②上記対象者で、過去5年以内に

認定委員会が認める学会や講習会

などで12.5点以上の点を取得し

ている者

受講料：2万円

申込方法：申請用紙をダウンロード

のうえ、「特定記録郵便」にて申

請

ダウンロード可能期間：3月1日

（月）10時～31日（金）17時

郵送受付期間：4月17日（月）8

時～24日（月）17時

■認定試験

日時：11月中～下旬の日曜日（7

月上旬に決定）

会場：東京都内（7月上旬に決定）

受験資格：①第22回認定講習会受

講者 ②第22回認定講習会受講免

除者（受講した年度を含めて3年

間受験資格あり）

受験料：1万円

講習会受講免除希望申請書類のダ

ウンロード可能期間：5月9日

（火）10時～6月9日（金）17時

受付締切：6月30日（金）当日消

印有効

※詳細問い合わせ

問事務局

T113-00033

東京都文京区本郷3-42-6

NKDビル7F 医療機器セン

ター内

03-3813-8565

（平日10～12時、13～17時）

03-3813-8733

<http://www.jame.or.jp/>

医療英語

飯田恭子と

楽しい医療英語の会

第1回勉強会

申込締切4月20日／東京

日時：4月23日（日）

Intermediate course：13時15分

～14時45分

Advanced course：15～16時30

分

会場：板橋区立企業活性化セン

ター2階 第1研修室（東京都板

橋区）

内容：医療・看護の領域でバイリ

ングルをめざす学生・教員・研究

者・英語好きな一般人対象の勉強

会

講師：飯田恭子（首都大学東京名

誉教授）

定員：各コース10名程度

参加費：Intermediate course（中

級）3000円

Advanced course（上級）

4000円

両コース受講6000円

※当日払

申込方法：メールにて

申込締切：4月20日（木）

小山田幸永（首都大学東京非常

勤講師）

o Yamada-yukihisa@tmu.ac.jp

看護教育

日本看護サミット

2017

6月6日／千葉

日時：6月6日（火）13～16時30

分

会場：幕張メッセ 幕張イベント

ホール（千葉県千葉市美浜区）

テーマ：地域包括ケア時代の看護

基礎教育

プログラム：鼎談「看護教育の将

来と看護への期待」石田昌宏（参

議院議員）・真田弘美（日本看護協

会副会長）・他1名／解説「看護基

礎教育をめぐる現状」井伊久美子

（日本看護協会専務理事）／パネ

リスカッション「看護基礎教育

を変える——We can change

岩澤和子（厚労省医政局看護課

長・鎌田久美子（福岡県すこやか

健康事業団福岡国際健康センター

長・時本圭子（日本看護

学校協議会副会長／倉敷中央看護

専門学校副校長）・上泉和子（日本

看護系大学協議会代表理事／青森

県立保健大学学長）・中畑高子（関

東中央病院副院長／看護部長）・

川添高志（ケアプロ株式会社代表

取締役社長）／講演「看護教育に

おけるこれからの政策課題」坂本

すが（日本看護協会会長）

参加費：事前5000円、

当日7000円

申込方法：日本看護協会ウェブサ

イト「日本看護サミット

2017」から

参加者
募集

<http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/summit/2017/>
 開運事務局
 kangosummit@nurse.or.jp

訪問看護全般

日本訪問看護財団研修 2017年4～6月

参加者募集

■事例から学ぶ制度・報酬・運営セミナー（2日間研修）

＜東京＞

日時：4月15日（土）・16日（日）

会場：CIVR研修センター秋葉原D405会議室（東京都千代田区）

＜大阪＞

日時：4月22日（土）・23日（日）

会場：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター2階グラウンドホール（大阪市淀川区）

対象：訪問看護ステーション、病院・診療所の訪問看護従事者、請求事務担当者等

＜1日目＞

ねらい：訪問看護制度をめぐる保健医療福祉の動向を把握し、適切な訪問看護事業が運営できる

内容：訪問看護をめぐる最新情報／訪問看護制度および関連諸制度／訪問看護制度の活用事例／訪問

看護教育

日本看護教育学学会 第27回学術集会

参加者募集

申込締切7月26日（水）／詳馬

日時：8月26日（土）10～16時40分

会場：前橋テルサホール（群馬県前橋市）

看護事業のリスクマネジメント／地域包括ケアシステムと訪問看護（2日目）

ねらい：訪問看護の報酬を理解し、適切に活用できるとともに正しく請求できる

内容：訪問看護の報酬のしくみ／事例から学ぶ請求事務

以下、東京・大阪共通

講師（会場により異なる）：小林仁美（厚生労働省保険局医療課医療指導監査室医療指導担当官）、厚労省近畿厚生局医療課担当官、佐藤美穂子（財団常務理事）・内野今日子（財団看護専門相談員）・加賀谷美貴子（財団立おもて参道訪問看護ステーション請求事務担当）・松浦素子（財団立刀根山訪問看護ステーション請求事務担当）

参加費：会員1万5000円、非会員3万円

申込開始：3月1日（水）10時

療養通所介護（多機能型事業）交流セミナー（2日間研修）

日時：5月20日（土）・21日（日）

会場：愛媛県看護研修センター・

テーマ：自己評価の反復による看護職者の自律と発展

プログラム：基調講演「院内教育の評価―研修の質向上を目指して」山澄直美（長崎県立大学）／演題発表および研究批評／シンポジウム「自己評価がもたらす看護実践・教育への効果」櫻井雅代（国立がん研究センター）・鈴木真紀

療養通所介護ひなたぼっこ（愛媛県松山市）

対象：療養通所介護等事業従事者、これから療養通所介護等に従事する看護師、介護職員等

ねらい：地域での事業の取組を見学し、事業運営と家族・地域とのつながりを学ぶ。

内容：財団立療養通所介護ひなたぼっこの見学／事業運営について／各事業所の紹介／意見交換

講師：安藤真知子（財団立在宅ケアセンター）ひなたぼっこ統括所長

参加費：一律1万円（交流会、そととり松山、夕食送迎含む）

申込開始：3月1日（水）10時

在宅療養管理セミナー

日時：5月20日（土）

会場：東京工科大学 蒲田キャンパス 31001教室（東京都大田区）

対象：医師・看護師等

ねらい：在宅療養者の褥瘡を予防し、褥瘡の治療促進や悪化予防、再発予防の実践を学び実践できる。

（国立精神・神経医療研究センター病院・永野光子（順天堂大学）・松田安弘（群馬県立県民健康科学大学））

参加費：一般8000円、大学院生を除く学生3000円、懇親会5000円別途

申込方法：ウェブサイトより

申込期限：参加申込、参加費振込

内容：褥瘡発生とアセスメント／褥瘡の治療／在宅褥瘡医療の推進／圧迫・ずれ力とリハビリテーション／スキンケア／栄養

講師：袋秀平（ふくろ皮膚科クリニック院長）・中澤孝志（がん研究会有明病院栄養管理一部副部長・瀧井望（財団立あすか山訪問看護ステーション皮膚・排泄ケア認定看護師）

参加費：会員8000円、非会員1万8000円

申込開始：3月15日（水）10時

在宅医療・介護連携のすすめ 相談助言・プレゼンテーション パワーアップセミナー

日時：6月4日（日）

会場：ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター2階グラウンドホール（大阪市淀川区）

対象：認定看護師（全21分野）限定

ねらい：医療と介護を生活支援の視点で一体的に提供する看護師の力を地域で発揮するためのポイントを学び実践できる

ともに7月26日（水）まで

開事務局

〒238-8522 神奈川県横浜須賀平成町1-10-1 神奈川県立保健福祉大学内

1 神奈川県立保健福祉大学内
 jane.27@yahoo.co.jp
<http://jane.unin.jp/>

内容：在宅医療・介護連携推進事業の動向／実践報告／地域の医療介護資源の把握（グループワーク）／情報共有の仕方／地域住民への普及啓発の仕方／多職種会議でのプレゼンテーションのポイント／看護師による相談助言のポイント

講師：厚労省（または行政）担当官・地域包括支援センターの保健師（地域ケア会議等担当）・長濱あかし（財団立刀根山訪問看護ステーション統括所長）

参加費：会員5000円、非会員1万円

申込開始：3月15日（水）10時

リンパマッサージ入門セミナー

日時：6月17日（土）

開催地：松山会場（愛媛県内会場調整中）

対象：訪問看護ステーション、医療機関の訪問看護従事者

ねらい：リンパマッサージの知識および技術を学び、症状のアセスメントと必要な緩和ケアが実践で

きる

内容：リンパと解剖整理／リンパ浮腫等の症状マネジメント／リンパマッサージの手法／効能の評価／リスクマネジメント

講師：千葉恵子（亀田総合病院緩和ケア専従緩和ケア認定看護師）

参加費：会員5000円、非会員1万円

申込開始：3月15日（水）10時

■在宅療養者の薬物療法におけるアドヒアランス

日時：6月17日（土）

会場：東京工科大学蒲田キャンパス3号館31001教室（東京都大田区）

ねらい：薬剤師等多職種が協働して、在宅療養者の薬物療法におけるアドヒアランスを高めることによって、合併症の発症や原疾患の再発を予防し、在宅療養者のQOLの向上を図る

内容：コンプライアンスとアドヒアランス／服薬中断の要因／アドヒアランスを高める服薬の支援／小児、高齢者、精神科疾患、認知症、糖尿病等のアドヒアランス／薬剤師等との多職種協働

講師：薬剤師、訪問看護師等（交渉中）

参加費：会員8000円、非会員1万8000円

申込開始：3月15日（水）

■小児訪問看護の実践方向と普及のための研修2017

（全4日間研修のうち2日間は必須研修、その後の実地研修は任意

参加

参加費：会員1万5000円、非会員3万円（実地研修費込み）

①小児訪問看護必須研修（2日間研修）

日時：6月24日（土）・25日（日）

会場：アクセス渋谷フォーラム（東京都渋谷区）

対象：小児訪問看護に従事する看護師

ねらい：小児入院患者の在宅移行の促進と、地域での生活を支援するために、小児およびその家族の支援に必要な知識・技術を習得し、保健・医療・福祉・教育等の社会資源の活用ができる

内容：障害保健福祉の施策の動向および制度の活用／小児の退院支援の実際／小児訪問看護の実践と多職種協働、ネットワーク化／小児疾患の理解／小児のフィジカルアセスメントと救命処置／呼吸および栄養に関する技術の演習（シミュレーションを使用）

講師：伊藤和也（厚労省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室障害児支援専門官）・雨宮馨（さいわいこどもクリニック非常勤医師）・岡田たみえ（東京都立大塚病院看護部看護支援部門 周産期退院支援コーディネーター）・梅野直哉（杏林大学医学部付属病院 小児救急看護認定看護師）・田中道子（財団立あすか山訪問看護ステーション所長）・ほか交渉中

②小児訪問看護実地研修（各1日

間の任意研修

対象：小児訪問看護必須研修の修了者

内容：「1」訪問看護ステーションにおける体験研修（1日間）、「2」こどもホスピス施設見学（1日間）

※日程は必須研修終了後に案内

※体験研修・施設見学は別日（両方の選択可）

※現地までの交通費は自己負担

申込開始：3月15日（水）10時

【以下共通】

関日本訪問看護財団

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-8-2

日本看護協会ビル5F

☎03-5778-7005

☎03-5778-7009

（研修担当）

http://www.jvnt.or.jp

訪問看護eラーニング

平成29年度「訪問看護eラーニング」

申込期間：4月20日（木）～12月5日（火）

開講日：4月20日（木）

申込期間：4月20日（木）～12月5日（火）

受講可能期間：ユザード・パスワード配信日から5か月間

※終了後1か月間の閲覧期間あり

受講方法：インターネットを利用した通信教育

内容：「新たな訪問看護研修ステップ1」に準じた訪問看護に関

する基礎的内容（訪問看護概論、訪問看護対象論、訪問看護展開論、在宅ケアシステム論、訪問看護技術論、訪問看護管理論）

受講料：個人申込1万6000円、都道府県看護協会申込1万4000円（訪問看護師養成講習会にeラーニングを活用する都道府県看護協会のみ）

申込方法：個人は財団ウェブサイトより、都道府県看護協会申込は各都道府県看護協会の定めによる

関日本訪問看護財団「訪問看護eラーニング」ヘルプデスク

☎03-5860-5322

support@netlearning.co.jp

http://www.jvnt.or.jp